

都市再生整備計画 事後評価シート
藤枝市中心市街地地区

令和6年5月

静岡県藤枝市

4) 定性的な効果 発現状況	・駅前広場景観形成事業による芝生広場整備により、イルミネーション等イベントで広く活用し、賑わいづくりに寄与した。また、景観の向上・賑わい空間の創出のみならず、ごみの不法投棄が激減した。 ・街なかシェアサイクル事業による、シェアサイクルの増設及びステーションの新設により、地域住民の生活利便性が向上した。			
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	実施状況 今後の対応方針等
	官民連携による 取組	(株)まちづくり藤枝と連携し、駅前広場や道路などの公共空間にて、マルシェやイルミネーションなどの賑わいイベントを実施。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	● 今後も公共空間を活用したイベント等を実施し、官民連携のまちづくりを推進していく。
	持続的なまちづくり 体制の構築	中心市街地活性化協議会を実施し、評価分析を行い、まちづくりに反映させる。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	● 今後も体制を維持し、実施していく。

様式2-2 地区の概要

藤枝市中心市街地地区(静岡県藤枝市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【大目標】 ICT×ストック活用で、ビジネスと人の流れを生み出すまちづくり 【小目標】 ①都市機能集積による生活利便性の向上 ②個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上 ③街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上	居住人口〔社会増〕	単位:人/年	93	H25~H28 (平均値) 103	H30~R4 (平均値) 124		H30~R4 (平均値)	
	空き店舗数	単位:件	49	H28 36	R4 55		R4	
	昼間の歩行者通行量	単位:人/日	7,356	H28 8,020	R4 6,230		R4	
		単位:		H	R		R	
		単位:		H	R		R	

街なかシェアサイクル構築事業
 ▲街なかシェアサイクル構築事業

市民体育館耐震改修、空調整備事業
 ▲市民体育館耐震改修、空調整備事業

駅周辺広場・道路空間賑わい創出事業
 ▲駅周辺広場・道路空間賑わい創出事業

駅前広場景観形成事業(基幹:高質空間形成)

田沼街道踏切改良事業(基幹:道路)
 ▲田沼街道踏切改良事業

駅前広場景観形成事業(基幹:地域生活基盤)

駅前広場景観形成事業【インターロッキングブロック舗装】

駅前広場景観形成事業【照明灯高質】

駅前広場景観形成事業【芝生広場】

関連事業(地方創生推進交付金)
 ICTで人の流れを呼び込むまちづくり
 ・ICT活用エキスパート養成事業
 ・藤枝クラウドソーシング運営事業
 ・地元企業ICT導入促進事業

関連事業(社会資本整備総合交付金事業(住環境整備事業))
 駅前一丁目6街区市街地再開発事業

関連事業(その他)
 ・藤枝市産業活性化推進事業
 ・都市機能・街なか居住推進事業
 ・空き店舗開業支援事業

区域内全域
 街なかシェアサイクル構築事業(提案)
 事業効果分析事業(提案)

市民体育館耐震改修事業(基幹:地域性格基盤施設)
 スポーツ拠点賑わい創出事業(提案)

駅周辺広場・道路空間賑わい創出事業(社会実験)(提案)

0 500 10,000
 S=1:15,000

まちの課題の変化

(生活満足度)
 駅周辺の生活利便施設の立地に加え、駅南北における広場の整備や田沼街道踏切の拡幅を行い、良好な居住環境の整備が図られ、市民の生活満足度が向上した。

(駅北地区の魅力)
 駅前広場景観形成事業により駅前広場の景観が向上し、コワーキングスペース等の核となる施設が整備され、駅北地区の魅力が向上した。

(昼間の賑わい)
 駅周辺広場の整備により、イベントやイルミネーション等の利便性向上が図られ、賑わい向上に寄与した。

(市民活動の場)
 市民体育館の整備により快適なスポーツ交流空間が創出されるとともに、市民の活動の場等としても利用しやすい環境を提供することができた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 生活利便性を向上させる新たな施策の検討・実施をし、市民満足度のさらなる向上を目指す。
- 官民連携のまちづくりを推進するため、市民及び民間事業者のまちづくりに対する意識醸成を図る。
- 再開発事業等により都市機能の集積を推進し、魅力ある職住近接の環境を創出するとともに、良好な居住環境を整備することで、居住人口を増加させる。
- 市民体育館の利用促進に加えて、未来共創ラボや産学官連携推進センター等の各拠点の有機的な連携により、昼間の活動の場づくりを行い、昼間の歩行者通行量の増加を目指す。
- 空き店舗等を活用したリノベーション事業や、出店から事業展開まで持続的な起業・創業を支える伴走型支援を実施し、空き店舗の減少を図る。
- 既存ストックを活用したイベントを実施し、賑わい向上を図ることで、イベント来場者数の増加を図る。
- 景観形成重点地区の指定による誘導を行い、無電柱化工事等の環境整備を実施し、居心地が良く歩きたくなる街なかの形成を目指す。
- 本事業で整備した、芝生広場・照明施設等適切な維持管理を実施し、高質空間を維持する。